

令和2年度 八代高等学校シラバス

教 科	理科	科 目	物理基礎	学 年	1	類 型	
単位数	2	教科書	考える物理基礎（啓林館）				
副教材	物理基礎研究ノート（博洋社）						

学習目標	・物理的な事物・現象に関する観察・実験などを通して、探究する能力や態度を高める ・日常生活との関わりについて考察し、自然に対する見方や考え方を培い、論理的思考力や課題解決能力を養う
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学 期	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方	◎速度や加速度について学び、等加速度直線運動や落体の運動について理解する	☐ ☐ ☐
	第2章 運動の法則	◎様々な種類の力について学び、力のつりあいや運動の法則をもとに力と運動の関係を理解する	☐ ☐ ☐
	第3章 仕事と力学的エネルギー	◎仕事やエネルギーについて学び、力学的エネルギーという観点から物体の運動を説明できる	☐ ☐ ☐
2 学 期	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー	◎熱量の保存や熱力学第一法則を学び、熱の利用について理解する	☐ ☐ ☐
	第3編 波 第1章 波の性質	◎波の特徴や現象など基本事項について理解する	☐ ☐ ☐
	第2章 音	◎音に関する現象や生活との関連を理解する	☐ ☐ ☐
3 学 期	第4編 電気 第1章 物質と電気抵抗	◎静電気や電気回路、オームの法則等を学習し、電気の利用について学ぶ	☐ ☐ ☐
	第2章 磁場と交流	◎磁石や交流、変圧器の学習を通して、電磁気の利用について学ぶ	☐ ☐ ☐
	第5編 物理学と社会 第1章 エネルギーの利用 第2章 物理学が拓く世界	◎科学技術の進歩により、自然界のエネルギーをどのように利用しているかを知り、物理学の発展が今後の世界をどのように切り開いていくのかを考える	☐ ☐ ☐

学習方法	授業を大事にし、物理的な事物・現象に対する概念や法則を暗記するのではなく、理解することに重点を置く。また、毎時間後の復習を徹底し、理解を深める努力をすること。
------	---

評価方法	考查評価7～8割（定期考查・課題考查）、平常点評価2～3割（課題、提出物、授業態度等）で総合的に評価し、100点満点で評点を算出するとともに5段階で評定を決定する。
------	--